

Yamaha News

ヤマハニュース 1993 No.359
M A Y

ニューモデル◆磨きこまれた伝統の形

SRV250S/250

No.1を探せ◆美人スタッフナンバー・ワン!

笑顔まぶしい加賀小町



特
広がるXJRワールド

デリバリー開始! 販売店奮闘ルポ
XJR体感/ユーザー試乗会アンケート報告

日本列島快走!!

XJR400

5
月号

特集 広がるXJRワールド

日本列島快走!!

XJR400

空冷最速! XJR400が走りはじめた

日本列島東西南北XJRサウンドが轟きはじめた

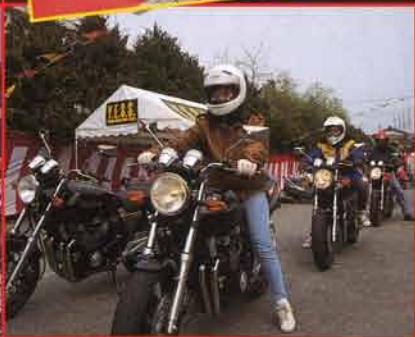
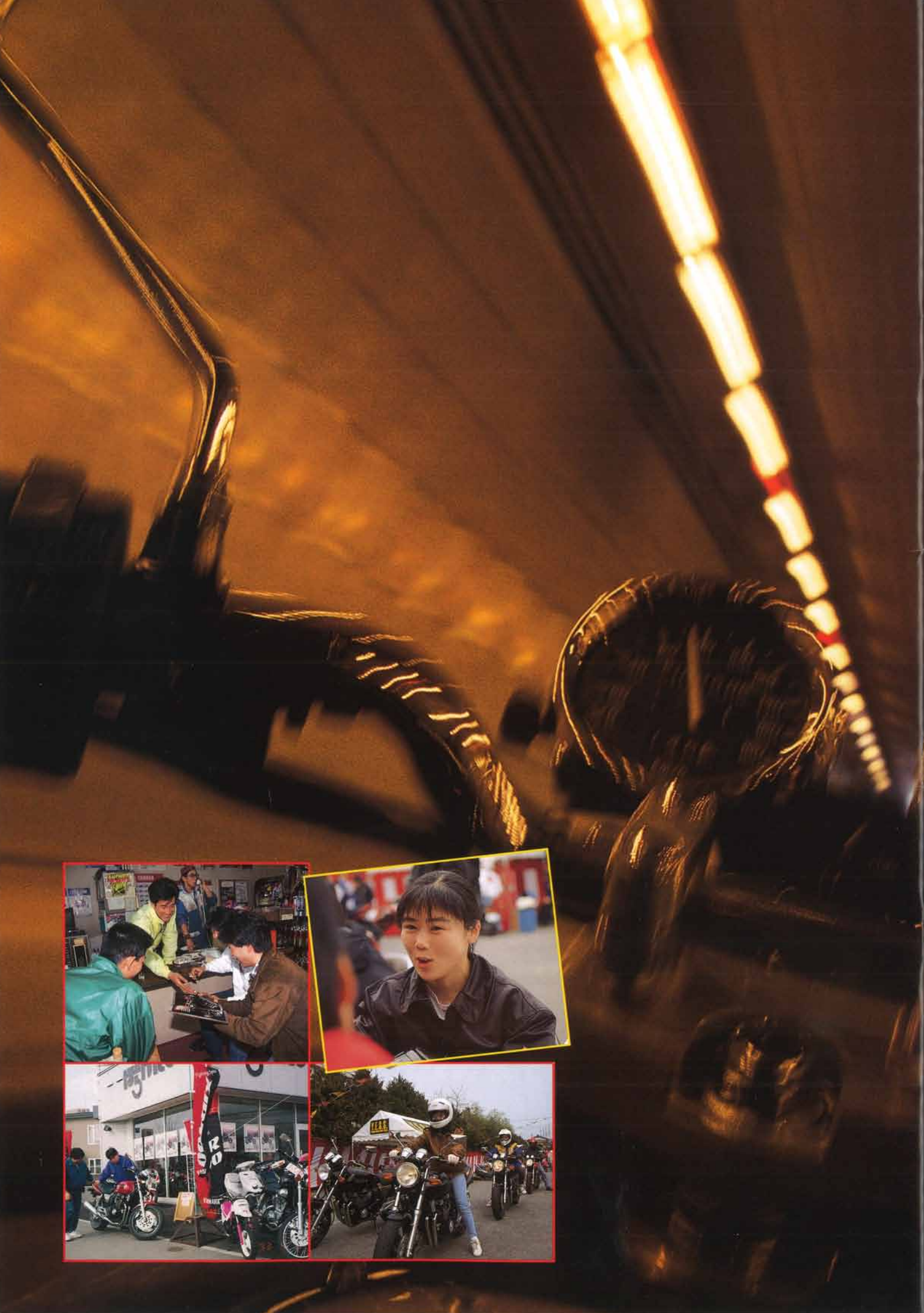
ファイティングスピリッツの叫びが聞こえてきた

XJRデリバリー開始! 一気に6速へ!!

今号の特集は満を待して拡販活動を展開する

セールス最前線の奮闘レポートです。





来店 知らせる 促進

実車が待ち遠しい！

告知と演出に全力投球！

イケると信じたXJR 予約活動ズバリの中！！

やはり、ニューモデルの拡販は4サイクルエンジンと同じように、大パワーを得ようとするれば、より多く吸気(集客)して強く圧縮(期待感を盛り上げ)、一気に火を点ける(発売)……とつなげていきたいもの。

どんなに優れた魅力あふれるマシンでも、お客さまがそれを知らず、店頭に来ていただければセールストークもふるえないし、実車を試してもらうこともできない。

「XJR400の場合は、発売前から雑誌に大きく取り上げられて、注目度が高かったでしょ。お客さんの問い合わせもあつたしね。」

しかも、3月初めの専門誌をみるとバッチリ写真も出てる。コレは絶対イケるな、と思つて力が入りましたよ」と話すのは、石川県『YSP金沢西』さんの森下明男社長。さつそく、3月27日の発売日に合わせて、積極的な予約活動を展開したのだ。

「XJR400予約受付中」という大きな看板を掲げ、店内には製品ポスター到着前についたオリジナルイラストのパネル。そして、

なにより店内スタッフが全員でXJRの話題を盛り上げた。

金沢付近は、もともと冬になるとバイクの乗車機会がほとんどなくなり、3月中旬以後急激に増えてくる土地柄。そのため、「私たちにとつてタイミングが良かったですね。お客さんがウズウズしてる時にウワサが広がって、待ちきれなくなるところで発売だったから」という環境にも恵まれた。

その結果、クチコミがクチコミを呼び、発売までの予約が20名以上という好タツシユに結びついたので。

そして、店頭の実車が届くとすぐ1台を試乗車にして予約者に乗せたところ、ほとんどが購入成約となった。

「でも、まさかこんなに反響があるとは……。納車待ちだらけで大変ですよ」とうれしい悲鳴を上げている。

新規、代替えと対象ごとに 2段階へのアプローチ

しかし、これだけ前評判が高いモデルでも、競合店、ライバル他車の影響が強いところで、実車が店頭に並ぶ前から予約がいっぱい

というわけにはいかない。

その分、いかにお客さまの注目を自店に引きつけておき、発売と同時に来店者を集めるかがカギとなる。

京都市の、大学生や20代前半の社会人が客層の大半を占める『YSP宇治』さんは、そのためにDMと新聞告知を柱に、新規、代替えで2段階への誘導策を展開した。

まず、3月19日には、地元で最もシェアの高い京都新聞に刷込みで「予約受付中」が3月27日より店頭試乗会」を告知。続いて3月24日、同じく京都新聞折り込みに「本日も入荷」とデビューをあおった。

その間DMで、代替え層を対象に専門誌のデビュー記事、続いてプロモーションVTRを用意したうえで新発売メッセージ入りのDMを150通発送し、来店を誘った。

「そのおかげで、入荷の時も試乗会の時も、展車や試乗車に絶えずお客さんが付いているという状態で、新規のお客さんがそのうち6割くらい。効果は上々だと思います。購入に結びつくのはこれからです。もう2件ほどまとまったし、いいスタートができましたね」と湯浅店長は弾んだ声で話してくれた。

YSP金沢西では、XJ400DとXJRを並べて展示したり、オリジナル看板をつくるなど、発売のインパクトを継続させる工夫も抜かりがない(1)(2)

春を待つ間、XJRの話題で来店を誘うためあらゆるツールをフル活用。「ラブレター書くよりはラク」と川口社長(YS(ほうけんしゃ)が話す手書きDMは効果バツグン(3)(4)(5)

新規獲得をメインに、試乗会、本日も入荷、と2段階で新規告知したYSP宇治。そのかいあって、試乗者の6割が新規客となった(6)(7)

暖かい心を込めたDM

金沢以上に春が遅い北海道・旭川。本格的にバイクが楽しめるのは4月後半から、というハンドレを背負っているが、来たるべき春、待ち望んだXJRへの期待も高圧縮されているようだ。

「冬の間中、お客さんはずっとウズウズしてますよ。だから、そんな人たちの興味や好奇心を春まで保ち続け、店に来てくれるようにするのが冬場の一番大切な仕事。」

3月になって、XJRが出るってわかってからは、その話で持ち切りでしたとは、『YOSHOPぽうけんしゃ』さんの川口眞司社長。

雑誌発表された記事を拡大コピーして店に貼り、あるいは店飾用に用意されたポスター、VTR、DMセットもフル活用して話題の盛り上げに努めている。

「ポスターを10枚くらい外に向けて一列に貼ったり、VTRはオーディオセットにつないで音響効果を上げてみたり、工夫できることは何でもやろうと思つて…。やる時間はいっぱいあったから」と笑うが、DMの手書きメッセージは特筆もの。

ひとりひとりのお客さまを思い浮かべながら、丹念に一枚づつ奥さまと2人で書き上げた。さらに、そうしたお客さまから聞いた見知らぬお客さまへも、伝え聞いた話をもとにしたためて送った。手書きDMが届いたその人は「どうしてボクのこと知ってるの?」とうれしそうに来店したのだ。

試乗会を予定した4月4日は、あいにくの雪に残念な様子だったが、もうバイクの季節だね、と目を輝かせて来店するお客さまが増え、いよいよ旭川もXJR人気爆発間近だ。

1 店内の様子

2 店舗の外観

3 XJR400新発売! 3月27日より試乗会 (昼前)

予約受付中! 3月27日より試乗会 (昼前)

TZ4250A '82モデル、TZ4250 '82モデル

特別価格で御奉仕

大野 誠

※送料・手数料は一切お客さま/御負担
※現金価格でクレジットOK

YSPオリジナルヘルメット (¥11000) 別途送料

中古車リスト (行儀の一環です)

FX2500 '80	SV400Vツツ
FX2500 '81	SV400
FX2500 '82-83	SV400
TZ4250 '82	SV400
FX1200 '82	SV400
FX1200 '83	SV400
FX1200 '84	SV400
FX1200 '85	SV400
FX1200 '86	SV400
FX1200 '87	SV400
FX1200 '88	SV400
FX1200 '89	SV400
FX1200 '90	SV400
FX1200 '91	SV400
FX1200 '92	SV400
FX1200 '93	SV400
FX1200 '94	SV400
FX1200 '95	SV400
FX1200 '96	SV400
FX1200 '97	SV400
FX1200 '98	SV400
FX1200 '99	SV400
FX1200 '00	SV400
FX1200 '01	SV400
FX1200 '02	SV400
FX1200 '03	SV400
FX1200 '04	SV400
FX1200 '05	SV400
FX1200 '06	SV400
FX1200 '07	SV400
FX1200 '08	SV400
FX1200 '09	SV400
FX1200 '10	SV400
FX1200 '11	SV400
FX1200 '12	SV400
FX1200 '13	SV400
FX1200 '14	SV400
FX1200 '15	SV400
FX1200 '16	SV400
FX1200 '17	SV400
FX1200 '18	SV400
FX1200 '19	SV400
FX1200 '20	SV400
FX1200 '21	SV400
FX1200 '22	SV400
FX1200 '23	SV400
FX1200 '24	SV400
FX1200 '25	SV400
FX1200 '26	SV400
FX1200 '27	SV400
FX1200 '28	SV400
FX1200 '29	SV400
FX1200 '30	SV400

YSP 宇治 YSP 伏見

4 宮野くわん
もうすぐバイクシーズンがやってきますね。
当店でもツーリングを計画していますので、是非参加して下さい。
以前に宮野くわんが話していた様
な代ボスタイルのバイクが、21日から発
売です。70Dモーター等用意してあ
る。一度見に来て下さい。
1579000

5 New XJR400発売!
ツリ空冷2バルブが
ツリにおなじみの
エンジンは、動力性能、70Dモーター、
インジェクション、大きく強く、下(深い)、
このバイクは、長く、強く、下(深い)、
香りが、ファインディングセシール、
全身におなじみのXJR誕生。
本日入荷!!
1,579,000

実車 乗せ 試乗 乗 広がる試乗会 フライバー 隠れたお客さまをキャッチ!!

他車との比較試乗会で
お客さまも納得!!

まだ桜がツボミさえつけない3月下旬の函館、もちろん街を走るライダーはほとんど見かけない。しかし北国のバイクショップは春を待たずに繁盛期を迎える。厳しい冬を越えた喜びと、バイクシーズンの到来にどこのお店も活気に満ちているのだ。

そんな中、XJR400の発売を目前に控えた3月末に、創業45周年を迎えた『函館マジマ』さんがリニューアルオープンした。4階建ての大規模な建物で、そのインパクトは札幌から四輪ディーラーが視察に来たほどだ。もちろんこの時期に新規オープンしたのは、XJRの発売日と無関係であるはずがない。「オープニングセールに合わせて、XJR400の登場感をあおりたかったんです。ですから地元新聞に全段抜きで広告を打ちました。と同時にXJRの発売を告知したら、当日は300人以上の来店があったんです。そのうち100人弱がDMのお客さんでしたから、残りの200人が広告を見た飛び込みのお客さんということになりますね。予想以



①



②



リニューアルオープン、そしてXJR400の発売と、函館マジマは例年以上にあわただしい春を迎えた。試乗会と用品の充実をメインに拡販を狙う(①②)

全国各地で展開されたXJR400のユーザー試乗会(③④)

上の反応に、こちらが驚いたくらいですよ」と、間島正明社長。

オープニングセールでXJR400の予約は7台。中には他車を見に来て購入を決めたお客さまもいた。これが本州以南であれば話は別だが、3月の函館のショールームとなるとやはり異例のことだろう。

オープニングセールでXJRとお店の存在を意識つける作戦は成功した。そして次なるステップがいよいよ「乗せる」作業だ。間島社長は胸を張ってこう話す。

「うちは伝統的に『見て、乗って、比較できる』という店づくりを目指してるんです。ですから店頭試乗会でも比較対象車を用意するつもりでいます。お客さんに自由に乗り比べてもらうことで、その評価の中から厚みのあるセールストークが拾えるんじゃないかと考えていますしね。

いずれにしてもXJR400は長く売りたいモデルですから、比較試乗をメインに頑張りたいですね」とのことだった。

試乗の申し込みが殺到 予約受け付けるショールーム

場所は違えど手法は同じ、函館マジマさんと同様に、比較試乗でXJRの拡販を図るのは『YSP神戸東』さん。毎年2回、市内の同業者グループと合同で開催する教習所での試乗会に、今年はもちろんXJR400を持ち込んだ。

「この試乗会の目的は、メーカーの枠を越えて、まず神戸のライダーを増やそうということです。ですからもちろんXJRのライバルとなるモデルも出たわけで、迷ってるお客さんにとっては絶好の比較のチャンスだったんですね。私自身、XJRの走りには絶対の自信を持っていますし、その部分についてはお



客さんも同じ様な感想でした」

と木下鐘道社長。あいにく3月後半から4月半ばまでの週末がごとごとく雨に見舞われたため、店頭での試乗会が思うように進められなかった。その立ち遅れた分を合同試乗会で一気に形勢逆転し、勝負はこれからといったところだ。

「あまりにも反応が大きすぎて、試乗の予約を受け付けたくらいなんです」と話すのは、『YSP名古屋東』さん。入荷前から「まだか、まだか」の声が相次いだため、連絡をいただいたお客さまをすべてリストアップし、入荷したと同時に電話を入れて乗りに来てもらったのだという。その場で契約したお客さまも4人いたほどだ。

火のついたこのXJRフィーバーをさらに



3

元気づけているのは、ショールーム同士の協力関係も無視できない要因だ。YSP名古屋東さんを含む市内のYSPが合同で、XJRの試乗会を開いたのだ。4月18日に教習所が開かれたこの催しには、YSP名古屋東さんのお客さまも多数駆けつけた。中には2度、3度と店頭で試乗したお客さまが、再び足を向けるケースもあったという。

「市街地で走っても体感できない部分がありますよね。XJRの魅力はそこにあるだろうし、お客さんもそれが分かっているから行くんでしょね」

全国レベルで広がるXJRの試乗会効果。乗ったお客さまからクチコミが広がれば、まだまだこのフィーバーは大きくなり続けるに違いない。

4

魅力 を広げる 展開 XJRの持つ魅力を 強烈にアピール!! ツインターリング フライールドで



1



2



3

4月18日のY.E.S.S. ツーリングに、2台のXJR400を持ち込んだY.S.P千束池の安藤社長(下の写真、左から2人目)。「乗せっぱなしにしないのか試乗会のツボ」と話す(12)

オビニオンリーダー的存在のお客さまにしほった試乗ツーリング。Y.S.P葛飾の拉販戦術は、狙いどおりのクチコミ効果をもたらせた(34)



4

乗せっぱなしは意味がない 会話から生まれる魅力も

「いやあ、こんなに市場の反応がダイレクトに伝わってくるモデル、本当に久しぶりですよね」と、開口一番こう言ったのは『YSP千束池』さんの安藤隆社長。とにかく明るい、のびと言った。「年間60台は売ってみせる」と、自信もちらりとのぞかせる。

同店のXJR拡販策は至ってセオリーどおりである。まず2〜3年前のスポーツバイク購入者にXJR発売を告げるDMを打ち、3月27日を待って店頭試乗会をスタート。同時にオビニオンリーダークな存在であるお客さま2人と従業員全員で、それこそ飽きるほど試乗を繰り返した。そして出た結果が、「これは売れる!!」だった。

「XJRの発売による波及効果はもの凄いですよ。まずスタッフにヤル気が出てきたし、何より来店、しかも飛び込みのお客さんが目に見えて増えました。試乗のために来たお客さんが他のモデルで成約したケースも出てくるくらいですからね。1台の商品だけでこれだけ店のムードが変わるんですから、正直びっくりしてますよ」

しかし安藤社長は決して楽観しているわけではない。むしろ慎重すぎるほど慎重だ。「6月が勝負だと思ってますね。4〜5月はニューモデル効果で間違いなく台数をかせげると思ってますが、問題はそれからです。市場の評判が定着してきたその頃に、XJRの付加価値的な魅力がどれだけ店から伝えられるかこの一点に尽きると思っています」

そこで企画したのはXJR試乗ツーリング。4月18日に行なわれるYESSツーリングに、2台のXJRを参加させるといふものだ。もちろん行きと帰りお客さまに乗っていただき、

店頭試乗では体感できないツーリングの機能を知ってもらおうというわけだ。

「ただ、そこで大切になってくるのは、どれだけ正確にXJRの魅力を知ってもらえるかということなんです。それぞれのお客さんでレベルが違うわけですから、試乗感もさまざまでしょう。ですから当然、いい印象だけを受けてもらえるとは限りません。そんな時にお客さまが感じた気になる部分というのを、逆に魅力と感じさせるようなセールストークの技術が必要になってくるわけです。もちろん店頭試乗の時も同じで、乗せっぱなしにならないようにできるだけ会話を持つようになっています」

試乗ツーリングメンバーは オビニオンリーダークで構成

一方、『YSP浜松』さんでも同様に、XJRのツーリング試乗会のプランを練っている。「いまは店頭の試乗車を切らすことができないです。ですから実現しませんが、一段落ついたところで定例ツーリングに持って行くこうと考えています」と話すのは、鈴木哲夫店長。連日押しかける試乗客の対応に大わらわの毎日だが、それだけに期待も大きいようだ。

「とにかく購入者の幅の広さに驚きますね。10代から30代半ばの方まで偏りがないんです。ただここで安心してはいけません。まだまだ同じ土俵に上がったところだと言いつつ、店としては全力で取り組んでいきます。今後はツーリング試乗会を織り混ぜながら、年間70台の目標をクリアできるように頑張りますよ」とのことだった。

試乗ツーリングによるXJRアプローチは『YSP豊前』さんも積極的だ。4月上旬、1泊2日で伊豆、箱根方面へのツーリングを企画、鈴木光男社長自らXJRで参加した。

と、ここまでは他店と同じだ。が、このツーリングに呼びかけたお客さまが、直接XJRの対象になり得ない層、または関心の薄い人たちであることに注目したい。

「参加したお客さんたちは、SRやTZRなどのオーナーで、購入時期を考えても代替えは期待できない。ただ、店のイベントには必ず参加、協力してくれる常連客。つまり、他のお客さんたちに対して影響力が非常に強いオビニオンリーダークなんです。この人たちがXJRの良さを体験してくれたら、評判は必ず広がる。オレ乗ったことないから知らないなんて言われるより「いやあ、この前乗ったけど、あれいいねえ」のほうが盛り上がりは歴然ですからね。第一、否定的な話をしなくなる」と鈴木社長は、クチコミ効果を狙っての参加メンバー構成としたのだった。

ただし、オビニオンリーダークたちが、XJRを評価してくれなければ、作戦は意味がない。

鈴木社長は、試乗するルートを練った。どこを走ればXJRの良さが分かってくれるか、楽しめるか……。最適なシチュエーションを数ある中から選び、最終的に前述したルートにした。正解だった。

「良く走る」「最高だよ」「オレのバイクよりらくて楽しいよ」。ツーリング後のXJRの評価は上々。参加者のひとりからXJRを買い増しするという、望外の効果もおまけについた。

● ●
XJR拡販活動は、今回の取材店の他にもまだまだ、なるほどとうならせるケースはたくさんあるはずだ。いずれにせよ発売当初はワンステップだ。さらなるXJRワールドを広げていきたいものだ。

XJR 体感!

ユーザー試乗会アンケート報告

「XJR オレのための1台」

●宮崎康司さん●24歳●自営業●歴5ヵ月●SRX400から乗り換え

エンジン、ブレーキ、ハンドリング、もうすべてのフィーリングがボク感覚にピッタリの1台です。アクセルをこれだけ回せばこのくらいのパワーでスピードが出るのが正確にわかるって感じ。

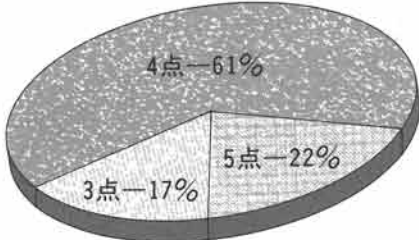
実は、昨年の12月、16歳の頃から憧れ続けたSRX400をようやく手に入れたばかりだったのに、XJRを試乗したとたん、ピンときちゃった。コレに乗ったらもうどのバイクでも満足できないなって。

買い換えは、1日悩んで決めました。そのあとはひたすら納車が待ち遠しくて、毎日店へのぞきに行きましたよ。

先日、300kmほど走ってきたけれど、ますます気に入っちゃって。スタイルも色(赤)も含めて、1から10までソツコンです!

総合評価(5点満点)

データ/一般試乗会アンケート(4月4日/大宮会場)



来場者の多くは、コレが欲しい、と決めて来た人ではなく、むしろこれから選択しようという人、あるいは興味本位で試乗に来た人だった。そのため、比較的冷静な目で見た評価だと思われる。

このなかで注目されるのは、エンジンフィーリングやハンドリング、ブレーキ性能といった要素より、外観や乗り心地といった乗り手の「気分」に訴える部分で5点の評価が最も多かったこと。試乗コース、時間などの制約で絶対性能がわかりにくかった、ということもあるが、XJRは性能より感性に合うモデルとしての説得力を十分備えているようだ。

項目別評価(5点満点)

データ/左記と同様

	5点	4点	3点	2点	1点
エンジン	26%	42%	27%	5%	0%
ハンドリング	25%	43%	28%	2%	2%
ブレーキ	39%	44%	16%	0%	0%
デザイン	39%	32%	24%	3%	3%
カラーリング	34%	34%	29%	2%	2%
乗り心地	46%	41%	12%	0%	0%

女の「でも乗れます」

●高坂道代さん●22歳●会社員●歴3年●750ccロードスポーツ車所有

スムーズさに驚きました。このタイプのバイクは、大柄な車体とか含めてちょっとガッツナイイメージがあったけど、全然そんなことがない。上から下まで伸びやかに回るエンジンと、動きの軽快さが魅力。

足着付き性もいいから、女の子だって乗りやすいんじゃないかしら。

私の好みから言うと、赤がいいな。

質感細部の仕上げはさすが

●綿鍋一利さん●22歳●公務員●歴6年●900cc・400ccのロードスポーツ車所有

ちょっと前まで、XJRのライバル車に乗ってたんですが、さすがヤマハというか、質感の高さといい、細かな車体のつくり込みはベストな1台。オイルクーラー標準装備とかそそるよね。

そのうえ、すごい軽快だし、ブレーキの効き、エンジンのパワーも抜群。文句の付けようがない。

街乗りでも快適な走り

●登丸雅一さん●25歳●会社員●歴7年●ZR2500所有

あえて空冷というヤマハのこだわりが好きですね。それでいてよく回るし、水冷エンジンにも負けないくらいパワーがある。

いままではなく男っぽいスタイルも「買い」だね。ハネ上がったテールにこいつエンジン、タンク。

でも、それ以外に気に入ったのは、街なかですごく扱いやすいこと。ポジションがラク



にキマるし、足着きもいい。そして、重そう
な外観のワリに全然軽い取り回し。

通勤でバイクを使うので、これは大切なこ
となんです。前傾姿勢のバイクは少々ツラ
くなってきたもんで(笑)。

うーん、悩んじゃうなあ。

やっぱり空冷4発でしょ

●内田昌孝さん●19歳●学生●歴3年●40
0ccロードスポーツ車所有

友達が昔のXJ400Dっていうのを持っ
てて、カッコイイなと思ってたんですが、コ
レもその雰囲気が好きくありますね。

なんだって、空冷4発エンジンはいい。憧
れですよ。太いリアタイヤとか2本サスもポ
イントかな。

最近、この手のバイクはいろいろ出てるけ
ど、一番カッコイイと思う。

実車を見ずに、即予約

●多賀谷誠さん●19歳●アルバイト●歴4年
●250ccスポーツからの代替

僕がXJRの発売を知ったのは、3月の中
旬くらいですね。あまり雑誌を見る方じゃな
いんで、結構遅かったんですよ。ちょっとし
た用事で竹内サイクルという店に寄った時に
店の人が「ヤマハから400のネイキッド
が出る」と教えてもらったんです。

それまでは250に乗ってたんですけど、
ちょうど買い替えようとしていたというか、
400に乗りたいくなったというか、そんな時
期だったもので、あせって実車も見ずに予約
してしまいました。

実物を見た印象ですか? とにかくカッコ
いい! 特にタンクの大きさとカタチがいい



ですね。車格が大きい割には乗りやすいし、
スピードがのつてる時の安定感もある。納車
される日が楽しみです。

高級感のある仕上げに感激

●田中雅之さん●22歳●学生●歴4年●25
0ccオフロードモデル所有

まず目を引くのはアルミのサイドカバーで
すね。なんかこう、お金をかけて造られてる
なって感じます。それでいて値段はそんなに
高くないでしょ? コストを上げずに細かい
ところまで仕上げたヤマハに拍手したい気持
ちですね。

乗り味は、とにかく乗りやすい。雑誌では
戦闘力の高いマシンなんて書かれてましたか
ら、もっとトンガったバイクだと思ってたん
ですよ。足つき性も含めてポジションもバツ
チリですから、これなら初心者だって扱える
と思います。

いまはオフロードモデルに乗ってますけど、

ネイキッドスポーツって前から好きなんです
よ。オフも手離すことできないから、もし金
銭的に許されるなら絶対欲しい1台ですね。

雑誌の記事はホントだった

●制野祐憲さん●25歳●会社員●歴7年●T
DR250、他2台所有

以前からミスターバイクのスクープ記事で
知ってたんですが、シヨップで現物を見たら
ぜひ乗りたくなっちゃったんです。いまは購入予定
はないんですけど、一応ニューモデルのチェ
ックだけは入れておきたい、と。

雑誌のインプレッションを読んでもみると、
とにかく速いってことが強調されてるんです
が、今日はその一端が感じられました。パワ
ーの伸び方が滑らかというか、スツツとスピ
ードのつちやうですね。

一見するとタンクのデザインなんか、いか
にもノスタルジックですけど、XJRの本当
の魅力は走りだと思えます。その走りのすこ

さが外見にも表れていて、本当に男のバイク
って感じがしますね。

TT-Rとどっちがいい?

●宮崎了さん●29歳●会社員●歴13年●FZ
R250R、セロー、DT200R所有

XJRはね、雑誌で見た時から気になっ
てたんです。ヤマハ党の私としては、他社には
興味がないけれど、ネイキッドタイプのオン
ロード車は昔から好きだったし。
それで今日乗ってみて、本当に気に入っ
ちゃって。ズバリ90点かな。

とにかく乗りやすい。旋回性はいいし、足
着き性もいいのにも驚いた。こういうバイク
って、すごく安心感あるでしょ。
それにエンジンも元気。楽しく走れると思
います。

でもね、今オフにも凝っちゃってて、TT
250Rがいいなと狙ってたんだけど、真剣
にとっちしようか悩んでるんです。

No.1を探せ

辻由紀子さん(YSP石川/石川県石川郡)

笑顔まぶしい加賀小町

1

たず1は2という定理より確かに、世の男どもは美しく愛らしい女性の笑顔に弱い。オジサンたちはもとより、年頃のシャイな少年たちではなおさらである。

ゆえに、こうした人たちがお客さまとなるバイクシヨップにとつては、天使のごときアイドル、看板娘の存在こそXJR400にも勝る(?)最終兵器なのだ。

そういう意味で、「YSP石川」さん(赤地恒彦社長)に勤める女性スタッフ、辻由紀子さん(23歳)はまさにその代表ともいべきひとり。

明るく活発で表情豊か。ニコニコよく笑う彼女は、美人というよりかわいい小町ちゃんタイプだ。

そのうえ、仕事はそうじ、登録、接客、店内ディスプレイから軽トラックを使って納車までこなし、プライベートではモトクロスやエンテューロにも出場するというアクティブ派。

レース前、キャブレターを清掃中、吸気口につめたウエスを取り忘れて組み直し、エンジンがかからないと大騒ぎしたことが2度もある、などそそっかしいところは、「愛敬」。

洋裁やお料理が大好きで、よくケーキを作ってお店の人やお客さまにふるまう女のこらしい一面もある。これで人気がないほうがおかしい。

「若いお客さんが増えだし、ユキちゃん目当てのアルバイト希望者も多いんですよ」と奥さま。その分、赤地社長は悪いムシがつかないよう苦勞が絶えないとか。お店に入ってから5年。ユキちゃんはすっかりお客さまのアイドルになったが、今や赤地家にとつてもかわいい娘みたいなものだ。

「高校を出る時、銀行や証券会社について話もありましたけど、後悔なんて全然、オモチヤ箱から生まれたような(愉快な?)社長と優しい奥さんに囲まれて、すっごく幸せです!」



獲得したトロフィーの数No.1、日本最南端・最北端にある店、奥さま自慢No.1、イベントの豊富さ日本一、などなど、「この点にかけてはウチこそNo.1だ!」というお店を募集しています。アピールポイントと店名、住所、電話番号を明記し、下記までご郵送ください。宛て先: ヤマハ発動機株広報室宣伝課「ヤマハニュース」No.1を探せ係
〒438 静岡県磐田市新貝2500

バイクへの熱い思いをこめて 安全と楽しさを絵で語ろう！ 『ナイスライドまんがコンテスト』

ご存じのとおり、Y.E.S.S.ではお客さまにバイクをもっと楽しく、安全に利用していただきたいと願ひ、さまざまな活動を展開してきました。

そのひとつが、今年6年目となる『ナイスライドまんがコンテスト』です。当初、ことばによるスローガン募集か

らスタートしたこのキャンペーンは、ライダー自身をはじめ広く一般の方々に、交通社会の一員としての意識を高めていただくというもので、毎回、多数の作品が寄せられました。

今年も5月1日から募集を始めるので、ぜひたくさんの方々にご案内ください。なお、今年はタイトルを見てもわかるとおり、イラストとまんがによる作品に

限らせていただきますので、間違えのないようお願いいたします。

第6回Y.E.S.S.二輪車

ナイスライドまんがコンテスト

応募部門/まんが・イラスト

(A) バイクの安全な使い方

(B) バイクの楽しい使い方

募集期間/5月1日～7月31日(当日消

印有効)

発表/9月下旬

応募資格/プロ、アマを問わずどなたでも応募可。

応募作品/官製ハガキ(タテ、ヨコは自由)に、黒くハッキリ見える筆記具(鉛筆は不可)を使用し、

1枚1作品、1コマで描いてください。

応募方法/①ハガキ裏面に作品と、作品の上にタイトル、下に住所、氏名を記入②ハガキ表面に応募部門(A、B)と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、キャンペーンを知った場所、広告名を記入し、左記へ郵送ください。

応募先/Y.E.S.S.本部事務局「ナイスライドまんがコンテスト」係(〒4

38 静岡県磐田市新貝2550

0 ヤマハ発動機株内

賞典/A、B各部門ごとに①グランプリ

(1作品) 30万円②準グランプリ

(2作品) 10万円③優秀賞(5作

品) 3万円、を贈呈。

※そのほか詳しくは、パンフレットをご覧ください。

SALES

50cc・夏の陣間近! 春商戦をしっかりとフォローし 最需要期につなげよう

XJR400、TT250Rとたて続けに新発売した待望のニュースポーツ車で、店頭は大変な賑わいを見せていることでしょうか、一方、2月、3月の主役となったJOGやTZR50をはじめとする50ccモデルも、これから夏にかけて再び大きな需要期を迎えようとしています。

季節がら、免許取得希望者が増えてきますし、6月には夏のボーナスも控えているだけに、今からしっかりアプローチしておきましょう。

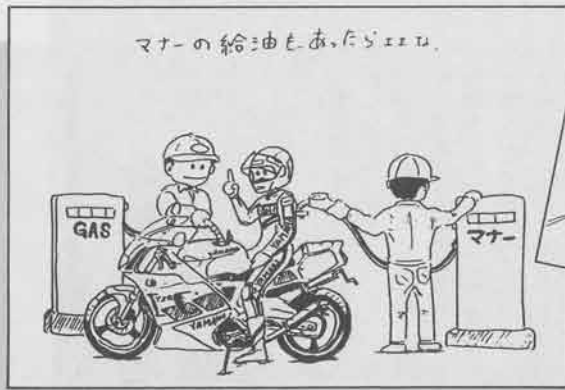
そのためには、まず春商戦の結果を正確に把握することが不可欠。見込客にあげたお客さまのうち、成約に至らなかった人は誰か、その理由は何か、などをチェックして最新リストを整備すれば、ム

ダな手間も省けますし、成功率も高くなります。

具体的なアプローチ方法は、春でやったとおり、新規層に対しては免許取得段階からアドバイスブックやVTRを使った需要喚起策、代替層には愛車点検による来店促進策が基本。

そこに、新しい工夫や演出をプラスしながら、継続は力なりの信念であせらずじっくり取り組みましょう。

ヤマハでは、こうした活動を支援する購入プレミアムキャンペーンなども企画していますので、ぜひご利用ください。詳しい内容などは別途各ヤマハ販売会社、拠点よりご案内する予定です。



第5回入選作品の例





今年も13名の若き力が雄飛! ヤマハ奨学生・第10期生 卒業おめでとつございませす

SERVICE

桜の花に見送られ、数多くの人たちが新しい門出を迎える春。ヤマハ販売店の次代を担う後継者として、さまざまな研修を重ねてきたヤマハ奨学生のみなさんも、今年3月4日、第10期生13名がめでたく卒業。それぞれの店で、これまで身につけた知識や技術

を生かしていくことになりました。

お店のますますの発展のために、大いに活躍ください。

また、すでに第一線でガンバっているサービスマンのみなさんには、基本に立ち戻つてさらに研鑽を積んでいただける場として「ヤマハ二輪車整備士講習会」を開講しています。ぜひご利用ください。

乗車機会が増える時こそ 万一の事故に備えて おすすめください任意保険

SAFETY

ツーリングに最適な季節になりました。乗車機会がぐっと増え、お客さまの顔もイキイキしてきたことでしょう。

しかし、そんな時だからこそよけい注意しなければならぬのが交通事故。

昨年は、これまで減少傾向にあった事故死者数が再び増加に転じています。気を引き締め直して、事故防止活動の強化をよろしく願います。

また、それに合わせて目を向けたのが任意保険。

あくまで、万一の場合に際して金銭的な保障を行なうものですから、当然そのお世話にならないに越したことはありません。

しかし、不幸にも事故にあつてしまつ

ヤマハ奨学生・第10期卒業のみなさん

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 佐藤健一(共栄輪店) | 竹内和義(竹内サイクル) |
| 池内 豊(池内輪業) | 森本勝則(モリモトサイクル) |
| 庄田賢一(YOUSHOP庄田サイクル) | 河合伸幸(YOUSHOP河合) |
| 杉本彦彦(YOUSHOPスギモト) | 岸本正和(YOUSHOPキシモト) |
| 田原宏一(ピークルショップタハラ) | 久保山茂(久保山サイクル) |
| 中西盛貴(中西モーターズ) | 石田昭雄(石田商会) |
| 藤本直樹(YOUSHOP藤本) | ※順不同、敬称略 |

■YTSヤマハ二輪車整備士講習会

版社	北海道 ヤマハ	ヤマハ 東北	ヤマハ 東京	ヤマハ 中部	ヤマハ 関西	ヤマハ 中国	ヤマハ 四国	ヤマハ 九州
5月		4M 18-20 2M 25-27	2M 12-14	B 11-13 2M 18-20	B 11-13 広島 B 18-20 福山 B 25-27 松江			2M 12-14
6月		B 2M 1-3 2M 15-17 2M 22-24	B D 15-17	2M 2-4 4M 9-11 2M 23-25	B 3-5 岡山 B 23-25 佐々木/T	B 15-18 高松	B 2-4	4M 2-4

B/ベインク 2M/2サイクルマスター 4M/4サイクルマスター D/ドクター
※都合により、開催変更および中止となる場合があります。また、ベインクは拠点開催ですので、日程のないものは各営業所へお問合せください。



レース観戦のあとの興奮をそのまま体験走行で満喫しよう! 『観戦サーキットラン・バック』

手に汗握るすばらしいレースを観たあとは、何だか自分がその主役レーサーになったような気分でアツくなったことがありませんか?
誰もいなくなったサーキットコースを見る時、自分がそこを走れたら……と思

う人は少なくないはず。

そこで、SUGOでは二輪、四輪のビッグレース8大会を選び、レース観戦と翌日には自分の愛車でサーキット体験走行も楽しめるという『SUGO観戦サーキットラン・バック』を企画しました。
お客さまを連れて、ツーリングがてらモータースポーツを満喫するのに最適な多数のご参加をお待ちしております。

なお、ご宿泊等についても、キャンプ、ホテルなど別途ご相談に応じますので、お早めにお問合せください。

■観戦サーキットラン・バック
料金/レース観戦、サーキット走行、保険、消費税を含む。

二輪レース・1万2000円
四輪レース・1万4000円

走行車/メーカーを問わず、認定ブレー

トの付いた各自持込車両。

二輪・125cc以上

四輪・オープンカーを除く

日程/下記のとおり。

定員/各80名

※詳しくは、SUGO仙台台(☎0224-83-4711)、東京台(☎03-3575-4771)までおたずねください。

5月のヤマハ提供番組ガイド

■93世界グランプリロードレース

W・レイニーのV4、原田哲也GPフル参戦、F・スペンサーの復活など、今年もヤマハチームは話題、見どころがいっぱい。その熱戦の模様を、専門家の確な解説を混じえながら全戦にわたって中継します。お楽しみに!

TXN系全国7局ネット・毎週日曜日
24時30分〜25時25分(静岡のみ月曜日24時55分〜25時50分)放映。

■驚き・ももの木・20世紀(新番組)

20世紀の、誰もが知っている歴史、事象、人物などの意外な事実や秘話、エピソードを、ドキュメンタリータッチのVTRで紹介します。

案内役はマルチタレントの三宅裕司と黒木瞳。近未来的なスタジオに、森毅氏(京都大学名誉教授)ほか多数なゲストを招き、試写会のような形で進行します。知的興味をそそる物語の数々に、ぜひ

AD

二期待ください。

放映・テレビ朝日系19局ネット、毎週金曜日21時〜21時54分。

■ヤマハONANDOFF

陸と海、2つの大きなワールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数かずを紹介する番組です。
巧みなカメラワークを駆使した美しい映像と選抜いたBGMで、話題性に富んだテーマをスポーツマインドたっぷりお届けします。

▼5月1日(ハイク編)

▼5月8日(ハイク編)

▼5月15日(ハイク編)

▼5月22日(ハイク編)

▼5月29日(ハイク編)

▼5月29日(ハイク編)

▼5月29日(ハイク編)

▼5月29日(ハイク編)

▼5月29日(ハイク編)

▼5月29日(ハイク編)



■日程

イベント	観戦日	サーキットラン
全日本ロードレース	4月25日(日)	4月26日(月)
SUGOグループA300km	5月16日(日)	5月17日(月)
全日本ロードレース	7月4日(日)	7月5日(月)
SUGOインターF3000	8月1日(日)	8月2日(月)
スーパーバイク世界選手権	8月29日(日)	8月30日(月)
SUGOインター500kmレース	9月12日(日)	9月13日(月)
TBCビッグロードレース	10月10日(日)	10月11日(月)
N耐久レース	11月7日(日)	11月8日(月)

※一部内容が変更となる場合があります。
※一部地域では放送日が異なります。

■オリジナルコンサート

私たちの創った世界、世界各国で精力的に活動を続けている助ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」そこで育った世界の子どもたちによる自作自演のコンサート模様をお届けします。日曜の朝をすがすがしく彩る純粋な音楽の響きをゆつくりとお楽しみください。

■ほっぶん王国(ラジオ)

10代の音楽フリークを対象としたアマチュアリスムたっぷりラジオ番組です。月曜から木曜まで、曜日ごとに切り口を変えた楽しい企画で、アマチュアバンドを応援します。

ニッポン放送他16局ネット。

BOOK & CD

DT1やXS1名車のツーリングサウンドが CDでよみがえる!

'60年代、'70年代を駆け抜けた、DT1やXS1といった名車たちの、鮮烈なツーリングサウンドを収めたCDが発売されました。

エキゾーストノートはもちろん、走行中に感じる吸気音、小刻みに響くタペット音など、臨場感がたっぷり。そのうえ、本誌でもおなじみの二輪ジャーナリスト柏秀樹さんと作家の片岡義男さんが制作に携わり、ストーリー性に富んだ構成となっている点も魅力です。

15年前、LPレコードとして発表されたものの復刻版にあたりますが、原音で忠実再生し、音質は最高。店内用のBGMに最適な1枚といえます。『単車! ワインディングのヒーローたち』『W1&XS1 グッドタイムズツーリング』各2300円
発売元・日本コロムビア様



触れて理解することから バイクへの愛情は深くなる

バイクを、単にまたがって走るだけの道具だとしか考えていなければ、人間関係と同じように表面だけの浅い付き合いで終わってしまいます。

長くじっくり付き合いたいと思えば、まず相手をよく知ること。それには、自分の手で愛車のメンテナンスをしてやるのが一番ではないでしょうか。

『最新 オートバイ・メンテナンス』は、バイクの基本メカニズムから日常の点検整備、応急処置などを、豊富な写真で具体的に示しながらわかりやすく教えてくれる本です。「メカは難しい!」と先入感を持ってしまっているお客さまの不安を取り除く、良きアドバイザーになるでしょう。

成美堂出版・刊 1300円



ティレル・ヤマハチームの フルサポートで行く F1イギリスGPツアー

マテリアル、パートナーチーム、ドライバーを一新させて臨んだ今年のヤマハF1チーム。序盤戦こそトラブルに見舞われて思ったような結果が出ていませんが、なにしろ混戦もよぶの今シーズン、中盤以降は上位進出の可能性も十分に秘めています。

そこで、機ヤマハトラベルでは「ティレル・ヤマハチーム」と提携し、ほかにはない特典いっぱいツアーを企画しました。ぜひお客さまにご案内ください。

■ティレル・ヤマハF1観戦ツアー イギリスGP

日程/7月8日~7月15日 8日間

料金/YES 54万8000円

一般 56万8000円

定員/20名(最少催行10名)

特典/①各チームスポンサーだけに提供される「パドックパス」で観戦②ティレル・ヤマハチームのピットやモーターホームを見学、(ほかでは絶対に入れない)③片山右京選手との交流会(予定)④ティレルの工場見学⑤チームスタッフフルサポートによる各種サービス⑥ロンドン市内観光、フリータイムあり⑦日本GPツアーの優先予約権

'93 YAMAHA NOVELTY

旅に出る・バックギングツール

日本列島、北から南までツーリングシーズン突入! ゴールデンウィークを手はじめに、夏へ向けて旅のプランがいっぱいというお客さまにぴったりのバッグをご紹介します。



●ナップザック・バイク
(No.374067/2500円)
ワンデイツーリングくらいなら、コレひとつでも十分間に合う収納量。カラになればたんでポケットにしまえる手軽さも魅力です。

●ダブルバッグ・オレンジ
(No.374021/6500円)
無造作に、何でもかんでもたっぷり収納できる大型バッグ。円筒形のシンプルなボディは、ナイロン製で少々雨にも平気です。スポーティなオレンジとブラックのツートンカラー。

●ウエストバッグ
(No.374023/1600円)
身の回りから離したくないサイフや小銭、タバコなどの小物をきっちり納め、出し入れもラクなのがウエストバッグの利点。高速道路を使う時は必需品といえるかも。防水力の高いナイロン製。





XJR400 二輪専門誌広告



TT250R 二輪専門誌広告

'93

年、ヤマハが自信を持って送り出した2モデル『XJR400』と『TT250R』。おかげ様で、両モデルとも発売以来圧倒的なご支持をいただき、順調な導入が進んでいます。

当

社では両モデルのさらなる伸長と鮮度の維持、話題の継続を目的に、今後も意欲的な広告展開を図ってまいります。

写

真の広告はその第1弾展開編。TT250Rはよりアグレッシブな走りの世界をメインに、XJR400はさらなるイメージの醸成を目指して、それぞれ二輪専門各誌に掲載されています。どうぞ店頭でも、ひき続き積極的な拡販活動を、よろしくお願いいたします。

磨き込まれた伝統の形

SRV250S/SRV250

メーカー希望小売価格 ¥479,000 SRV250S

¥449,000 SRV250

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラー：SRV250S/ブルーイッシュブラック、エンプレスマルーン
SRV250/エンプレスマルーン、ダークパーブリッシュブルー
メタリック2、ペリーダークブルーメタリック3

5月22日
新発売

SRV250S



エンプレスマルーン

250ccスポーツの世界に、かつてない所有感とオリジナリティあふれる乗り味を送り込んだSRV250がリフレッシュ。空冷Vツインならではの走りの世界を、さらに広げる『SRV250S』の登場です。

前回東京モーターショーに展示され話題を呼んだ、『SRV250スペシャルバージョン』のコンセプトをダイレクトに継承。トラディショナルVツインをさらに強調すべく、数々のニューフィーチャーを盛り込みました。

また、好評の『SRV250』もこれに合わせてクオリティアップ。所有感、走りともに一層の磨きをかけて、『93モデル』として発売します。



ブルーイッシュブラック

SRV250



ダークパーブリッシュブルーメタリック2



ベリーダークブルーメタリック3



エンプレスマルーン

SPECIFICATIONS ()内はSRV250S

●全長2095mm●全幅720mm●全高1055mm〔1105mm〕●シート高770mm●軸間距離1390mm●最低地上高140mm●乾燥重量144kg〔146kg〕●エンジン4サイクル・空冷・SOHC・2バルブ・V型2気筒・248cc●内径×行程49.0mm×66.0mm●圧縮比9.8:1●最高出力27ps/8500rpm●最大トルク2.5kg-m/6500rpm●始動方式セル式●滑潤方式強制圧送ウェットサンプ●オイル容量2.0ℓ●燃料タンク容量13ℓ●キャブレター型式BDS26×2●点火方式フルトランジスター●クラッチ型式湿式多板●変速機形式常時噛合式前進5段●タイヤサイズ(前)90/90-18 51S(後)110/90-18 61S●ブレーキ(前)油圧式シングルディスク(後)リーディングトレーリング

SRV250S/SRV250共通の新フィーチャー

シート変更による乗り心地の向上

シートクッション厚を10mm増加、あわせてクッション硬度の最適化をはかり、この相乗効果で乗り心地を一層向上させました。

ハンドル、ミラーの体感振動低減

ハンドルのグリップエンドは、新たにラバーを介したダイナミックダンパー化を施しました。これで、ハンドル、ミラー等の体感振動を一層低減させています。

クラッチフィーリングの改良

プッシュロッドのガイド形状をストレート化し、作動性を向上させることによりクラッチフィーリングを改良しました。

ステアリング軸受けにリテーナー付きアンギュラーベアリングを採用

従来ボールレースベアリングを使用していたステアリング軸受けには、新たに上下ともリテーナー付きアンギュラーベアリングを採用しました。これは、各ボールへの荷重を放射線状に分散させ、回転精度を向上させるもの。これによりステアリングまわりの軽快感と信頼性を向上させました。

外観品質の向上

この他、①ブレーキペダル、チェンジペダルのクロムメッキ化(従来は亜鉛メッキ)、②セルモーターのシルバー塗装化、③ドライブチェーンからのグリス飛散防止用カバー追加、④フレームダウンチューブ部板金クランプの樹脂化等を行ない、外観品質をさらにレベルアップしました。

SRV250Sの特別フィーチャー

サブタンク付きリアサスペンション

コンベンショナルな2本タイプのリアサスペンションは、新たにサブタンク付として性能をアップ。常に安定したダンパー効果を発揮します。

塗り分けフェイェルタンクの採用

塗り分けフェイェルタンクを採用しています。「SR400」「SR500」同様のパターンでトラッド感と高級感を強調しています。

ロータイプハンドルの採用

スタンダードモデルのハンドルに対して25mm低く設定したロータイプハンドルを採用。外観と合わせて、よりスポーティなライディングポジションを実現しました。

メーターバイザーの採用

ハンドルマウントのメーターバイザーを採用、スポーティなイメージを強調させました。

クロームメッキチェーンケースの採用

クロームメッキの板金製チェーンケースを採用しました。

大型エンブレムの採用

サイドカバーのエンブレムは、デザインを一新かつひとまわり大きなタイプを設定しました。



○ダークブルー



○ホワイト



○ガンメタ

正統派のオープンジェットヘルメット

ZENITH (SL-9D)

ゼニス

メーカー希望小売価格 **¥12,800** (消費税は含まれません)
規格：JIS-B種 サイズ：M、L
カラー：ホワイト、ブラック、ガンメタ、ダークブルー、ダークレッド

ベーシックフォルムに先進のノンビス着脱機構シートを備えたオープンジェット型ヘルメット“ゼニス”が、ワンクラス上の内装を装備しました。新内装はオフロードヘルメット“ギブソン”に使用されているメッシュ生地を使ったもの。これにより、さらなる快適性の向上とともに、ニューエンブレムの採用と相まって商品性を大幅にアップしました。



○ブラック



○ダークレッド

ヤマハツーリングテント ルクサータイプ

メーカー希望小売価格 **¥19,800**
(消費税は含まれません)

1~2人用
構造：ドーム型(X字型フレーム)
サイズ：W240×D125×H120cm
素材：本体、フライシート/ルクサー、ポール/FRP
重量：2.9kg
カラー：グリーン/グレー(グランドシート部)
付属品：収納袋、ペグ8本、ハンマー

大自然の中で夢見る



新素材“ルクサー(不織布/旭化成との共同開発)”を使用した機能満載のツーリングテントです。ルクサーはナイロンタフタと比べ、透湿性で5倍、耐水性で10倍もの特性を持ち、このためフライシート無しでの使用ができコンパクトな収納と快適な居住性を実現しています。

本格的なツーリングシーズンを迎えた今が拡販のチャンス！ どうぞお客さまにご案内ください。

TOPICS



接戦また接戦。スピードはレーサーに比べ低いかわ、味わえるマインドは本物

『SRVカップ』もスタート! ますます盛り上がる 『えんじよいサーキットレース』

自分に合ったカテゴリーで本格的なレースを楽しめる『YESSEN えんじよいサーキットレース』が、今年も4月4日筑波サーキットで盛大に開幕しました。

偉大なる草レース、第23回サ・サウンド・オブ・シングルスをはじめ、オーバードライビングや依然として高い人気を誇るSDRカップなど9カテゴリー、8レースが行な

われましたが、今回特に注目を集めたのが新設のSRVカップ。

これはSRV2500のワンメイクレースで、レギュレーションは保安部品をはずしただけの完全ノーマル。改造費が不要で、しかも勝負はライダーのテクニク次第というイコールコンディションのため、誰でも気軽に参加できるのが魅力です。今回がその第一戦とあって、一般参加に加え、二輪専門誌からも多数

エントリー。14名のSRVレーサーが予想以上の接戦を展開し、ギャラリーを沸かせました。

「レースのための車両でなくても、本場のレースの楽しさが味わえる」「イコールコンディションでの勝負が楽しい。レーサーに比べ限界が低い、その分だけレースに集中する余裕があり、初心者からベテランまで楽しめる」と大好評。今後、さらにエントリーが増えそうな気配です。

モータースポーツをより広く より深く発展させたいと願う インドネシアへ出張コーチ!

「存じのとおり、ヤマハでは積極的なレース活動、サポートを行なうことで、モータースポーツの普及、発展に力を注いでいます。」

それは、世界グランプリや全日本選手権といった上級レベルから、広く一般のお客さまに楽しんでもいただく地域レースの開催や支援、ライダー



ロードレース組には、インドネシアから3名、マレーシアから3名と計6名の現地契約ライダーが参加し、サーキットだけでなく、オフロードでスライド走行を練習

ینگスクールまで多岐にわたりフィールドも国内だけにとどまりません。例えば、日本や欧米諸国に比べるとまだ発展途上にあるインドネシアでも、現地法人のYMKIがモータースポーツ振興にあたっており、数人の契約ライダーをかかえるなど本格的な活動を展開しています。

そのなかで、このたびもっとレベルアップするために協力してほしいという要請があり、ヤマハ本社からさっそく特別インストラクターを派遣、出張コーチを行ないました。

スタッフは、ロードレース組とモトクロス組に分かれ、ロードをシヤケさん、こと河崎裕之さんとワイクスライダー本間利彦選手、モトクロスを元国際A級ライダーの藤秀信社員とYESSENレーシングチームの村橋健太郎選手がそれぞれ担当。走



パドック内のステージにはXJR400と発売に先がけてSRV250Sが展示され、多数のギャラリーが実車の感触を確かめていました



モトクロス組は2日間の講習のあと、実際のレースで実戦練習。現地ライダーが2位2回、3位2回を獲得したほか、村橋選手は国際125、250で3ヒートを完全制覇し、新聞にも大きく取り上げられた



今はまだ日本の国内A級レベルだが、あと数年後が楽しみ

春夏の需要拡大に勢い水! XJR400を連ねて YOU SHOP懇親ツーリング

これからポーンズ期をはさみ、夏へ向けて原付車は最需期を迎え、スポーツ車も注目のXJR400とTT250Rがデビューして引っぱり、今年は大忙しのシーズンとなりそうです。

そこで、東京都地区のYOU SHOP会では、各ショップの懇親をはかり、一致団結してこの勢いを伸ばしていこうと、4月13日・14日と店長、社長同士のツーリングを企画

しました。

さすがに、需期のまっ最中とあって全員参加とはいきませんでした。それでも14名が集合。そのうち4名はデモンストレーションを兼ねてXJR400で駆けつけました。

中央高速道路・石川PA(八王子)を出発した一行は、八王子ICから一般道へ入り、奥多摩まで70kmの走行を楽しんだあと昼食。さらに塩山勝沼を経て石和(山梨県)へ至る合



すばらしい好天に恵まれて、気持ちよく快走。現地では一面の眺め花に迎えられた

平日開催にもかかわらず、約40名が参加



3月から4月にかけて実施中の販売コンクールもこの日はお休み。山梨名産のワイン工場を見学して和気あいあい

計約220kmのツーリングに、「久しぶりに走ったけれど、XJRなら疲れも少ないしおもしろかった」「セールストークに生かせるいい体験をした」など、元気がっぱいの声が聞かれました。

そして、夜はお待ちかねの懇親会。ちよっぴりお酒も入って気のおけない仲間と歓談したり、翌日はゴルフやツーリングと、大いに鋭気を養っていました。

日本グランプリのコースを TZR250RSで走った! '93YRSサーキットランin鈴鹿

スポーツランドSUGOや筑波サーキットなど、本格的なレーシングコースを自分の愛車で体験走行しながら、安全運転テクニックを学べるのが「YESS・YRS サーキットラン」です。

なかでも、今年から新たに加わった鈴鹿サーキット(三重県)を舞台とした「'93YESS・YRS TZR250RSサーキットランin鈴鹿」は、日本グランプリや8時間耐久レースと同じコースを走れるとあって人気も上々。

3月17日には、その第1回が行なわれ、約40名の参加者で賑わいました。風が少し強かったもののすっきり

した快晴に恵まれ、約1時間にわたる走行を楽しんだ参加者たちは、「憧れのスズカを走れた!」「ストレートは想像以上に長いし、コース幅も使いきれないほど広がった」など感激した声で話していました。

そのあと、インストラクターを務めた国際A級ライダー生見友希選手と記念撮影したり、ふだんは絶対に入れないコントロールタワーや表彰台、インタビュールームなども見学。満足度100%の1日でした。

今後は、5月19日、6月9日、9月8日、10月13日の4回を予定しています。



参加者の3分の2が用意されたTZR250RSで走行。マシンポテンシャルも十分に堪能した

TOPICS

低空でも自在に空撮！ ヤマハ無人ヘリを使った カメラワークにNHKが挑戦

ヤマハが手がける無人ヘリコプターは、新しい農業技術のひとつとして農業散布などで活躍していますが、このたび、その低空での自在な機動力を生かしてテレビの空中撮影にもチャレンジし、高い評価を得ました。これは、NHK岡山放送局の依頼に応えたもので、機体は「エアロロケットR-50」を使い、特殊な防振対策で映像がブレないようにカメラをセット。

さらに、撮影飛行まで一貫した協力を行なって撮った映像は、「ふれあい中国路・とび立て春に」という番組になりました。そして、2月23日・24日、東京のNHK放送センターで開催された第23回NHK番組技術展にこの機体を展示したほか、「ふれあい」は放送の部で全国最優秀賞を受賞！ 有人ヘリコプターでは撮れない低空からの映像がすばらしいと、熱い注目を集めています。



みごと空中撮影に成功したR-50は、無人ヘリの新しい利用分野を開拓

鉄の馬を飾るには 名馬具師をもつてせよ 『エルメス』仕様のビラーゴ

自分のバイクを、いろいろ好みにドレスアップすることは、オーナーの楽しみのひとつです。かつて、馬が主な交通手段であった時も、武士や西欧の騎士たちは同じように馬具に凝り、愛馬を飾りました。

それでは、アイアンホースとも呼ばれるバイクに、昔の馬具師が装飾の腕をふるうとしたら？ そんな試みに挑戦したのが、ヤマハモーターフランスと世界的なファッションメーカー「エルメス」です。

エルメスは、150年前、名馬具師として名を馳せ、今なお皮革を扱

う超一流の専門家でもありません。その卓越した技術と、スキッパーというしなやかで優れた防水性を備えた水牛の革を生かし、ヤマハビラーゴ535に手を加えた結果、YH001という作品が誕生しました。



製作には金属アトリエで30時間、皮革アトリエで78時間をかけて丹念に仕上げる



シート、タンク、フエンダーなどを、スキッパーで丁寧に覆って細工を加えてある

インドネシアの農業大学へ 農作物運搬の効率化研究に ヤマハATV2台を寄贈

インドネシアは、人口の65%が稲作を中心とする農業に従事する農業立国です。

しかし、それほど機械化が進んでいないため、仕事はまだまだ人間の手や家畜の力によるところが大きく、効率化、省力化といった点での研究が盛んに行なわれています。ヤマハの現地法人・YIMMも、

ポゴール市にあるポゴール大学と共同研究や卒業生の就職、奨学金制度などの形で協力。地元の発展に寄与してきました。

そんななか、同大学からヤマハへATVを利用した農作物運搬の研究に手を貸してほしいと依頼があり、さっそく2台のYFB250を寄贈することになりました。



贈呈の日には、デモンストレーションと試乗を行なって、その優れた走破性を披露すると、大学関係者から改めて驚きの声が上がリ、今後の研究に大いに役立つだろうと熱い期待を寄せていました。

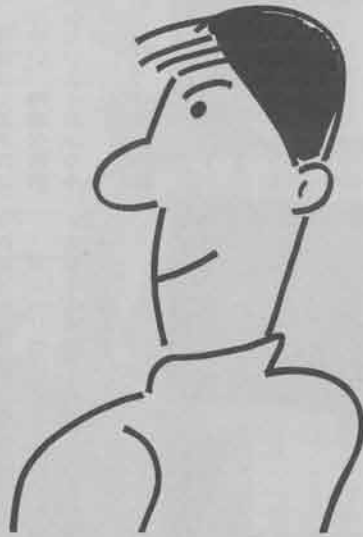
優美さと高性能、快適性と耐久性を両立させた、芸術品ともいえるこの一台はおよそ9万フラン。ヤマハモーターフランスで特別注文を受けつけているそうです。

TOPICS

お客さまとお店の交流記。

お客さまとお店の交流記。

豪州を走る…の巻



4月1日 今日はいびりフルフル。何か気のきいたウソを会社でかましてやろうかと思ったら、まんまと先に引っ掛かってしまった。世の中、人をだますことはかり考えて生きてる人がいる。気をつけねば……

4月9日 11日からYES Sスーパーツーリング・イン・オーストラリアに参加するため、国際免許の申請に行く。午前中会社を休ませてもらったのだが、何のことはない、ものの30分で交付されてしまった。もつとキョーギョーし

い審査が待っているものと思っていたのに、これでは拍子抜けしてしまう。オーストラリアは初めて、もちろん海外でのツーリングも初めてだ。とにかく楽しみで仕方ない。

4月10日 明日から1週間以上留守にするため、愛車セローにしっかりとシートをかぶせる。普段は減多なことでは使わないサイクルロックもガッチリかけて、留守中のイタズラに備えた。幸い今までにイタズラや盗難に遭ったことはないが、たとえ1週間でもやっぱり不安だ。

4月11日 ついにオーストラリアへの出発の日。初めて成田空港の第2ターミナルに入る。あまりの広さに迷子になりそう。同じようにウロウロしている人の中にヘルメットを持つてるカッパルを発見。きつと同じツアーに参加する人だろう。

4月13日 やはりオーストラリアは広い、大きい、気持ちいい。日本では乗ることできないFJ1200(もちろん免許がないから)で、シドニーからポート・マコーリーまでの400キロをカッ飛ばす。道幅は広いが路面のミューが低く多少不安もあったけど、やっぱり日本と同じ左側通行は走りやすい。しかし気持ちが高ぶりすぎて、気がついたら走ってきた風景さえも思い出せない状態だった。

4月16日 オーストラリアから帰ってきた翌日の午後、土産話をドッサリ持ってきていつものバイクショップに顔を出す。XJR400がお店の前にデーンと座っていたが、僕はこの後発売されるというTT250Rの方が楽しみたい。2時間近くお店で雑談し、アパートに帰ってからオーストラリアで買ったカンガルーのステッカーを、セローのフロントフェンダーに貼ってあげた。結構似合っている。

(一)



ウェルカムパーティには、J・M・P・F会長を務めるヤマハの江口秀人社長(前列・右3番目)も出席

全国の少年少女デインギーセイラーが自慢の腕を競うヨットレース、
『第1回J・M・P・Fジュニアチャンピオンレガッタ』が、3月25日から28日までの4日間にわたり、静岡県・ヤマハマリーナ浜名湖で開催されました。

この大会自体は、昨年で10回を数える歴史がありますが、今年からは文部省指導のもとに設立された財団本マリンスポーツ普及教育振興財団(J・M・P・F)主催として新たにスタートしたものです。

当日はミニホッパー級、シーホッパー級SR(シヨートリグ)セイルヤラストがやや低い)の2クラスに、

春の浜名湖にセイル満開! 少年少女がデインギーで熱戦 ジュニアチャンピオンレガッタ



風に恵まれた27日は、豪快にプレーニングする艇も見られ、白熱したレースを展開

21クラブ58名の選手が参加、各クラスで4レースずつを行ないました。しかし、天候のほうは無風から強風、雨とめまぐるしく変化するあいにくのコンディション。集中力を欠かさないう、がまんのリースとなりましたが、選手たちはそれぞれ一杯のセーリングをみせて大会を盛り上げました。

世界選手権ロードレースシリーズ第2戦・マレーシアGP

W・レイニー2戦目で 今季初勝利

V4に向け万全のスタート



ブレーキとホイール以外は全くの別物といわれるニューYZR 500を2戦目で早くも優勝に導いたレイニー

開幕戦を2位で終えたレイニーは、本当に喜しそうだった。ライバルのシユワツに3秒差となったが、「みんなの力で2位入賞は優勝したのと同じ」とコメントしている。昨シーズンは開幕前のケガ、第1戦の転倒と大きく出遅れていただけに、レイニーにとっては価値あるポイントゲッツトとなった。

続く第2戦、マレーシアGPはポールこそシユワツに奪われたものの、スタート・トゥ・フィニッシュの完璧なレースで優勝。ファステストラップをもマークし、ランキングでも早くもトップに躍りだ。

「朝のウォームアップでサスペンションの部品を交換して、YZRの調子が良くなった。チームのエンジニア、メカニックも良い仕事してくれた」とレイニー。ケニー・ロバーツでさえ成し遂げられなかった4連覇へ向け万全なスタートを切った。



開幕前から原田は好タイムを出し厳しくマークされていたが、この決勝での勝負強さは並いるGPライダーの注目をさらに集めることとなった

一方GP2クラスは、開幕戦でデビューを達成した原田哲也がここでもトップ争いを展開。全日本からのライバルだった青木に僅かコンマ3秒差の2位に甘んじたが、こちらも堂々のランキングトップに立

っている。
上々な仕上がりを見せるレイニー、期待どおりの活躍で観衆を沸かせる原田。ヨーロッパに戻ってからどんな走りを見せるか、今から非常に楽しみだ。

ワールド選手権ロードレース

ワークス1年生増田智義 YZMを駆り開幕戦を制す

MX

全日本モトクロス選手権シリーズは、3月28日の第1戦から今シーズンの行方を占うかのような激戦が展開された。雨中で行なわれた開幕戦を制したのは、ワークスマシンYZM250を駆る



土曜日の予選から好調だった増田。ヒート2では転倒により優勝を逃すが、総合優勝を獲得

A級3年目の村橋（右）と表彰台で喜び合う増田。'91年夏、'92YZのデビューウィン以来2度目の優勝

増田智義。チームYZから今年ワークス入りした1年生は、ヒート1優勝、ヒート2でも2位という堂々たる成績をマークした。レースはYESSレーシングチームの村橋健太郎のホールショットで始まった。ゼッケン1のE・ウオー

レン、そして増田が村橋をパスしたところで順位の移動が止まり、トップウオーレンと増田の差は15秒程度で開く。しかし独走かと思われたウオーレンがラスト3周で転倒。ここからレースが動きだした。

ウオーレンの姿を確認した増田は猛然とスパート。リズムが狂ったウオーレンとの差を詰め、ラストラップには完全にテールについた。あつという間の接戦、場内の観客は増田に声援を送る。ここでウオーレン2度目のスリップダウン。これがかわした増田がまず先にチェッカーを受けた。

「91年に勝ってから、とても長かった。腰のケガ、手術のための入院。どんなに努力しても、自分の思うような方向に進まず、本当につらかった」と増田。ワークス入り、リーフスプリング搭載のYZM250の開発発というプレッシャーをはねのけた増田は、3位に入賞した村橋と表彰台で喜びを爆発させた。

続くヒート2では、ホールショットを奪った増田が独走。2位以下に大差をつけての完全優勝かと思われたが、これを阻んだのはワークスの先輩、田淵武だった。「大差はついていいたけど、増田は後半守りに入ると読んでいたよ。3・

2と飛ぶ5連チャンを飛ばさなくなったとき、これはいけると思った」。その言葉どおり終盤で追いつくと、そのまますつきりとラスト2周で増田をかわしトップに立つ。ところがラストラップで田淵が転倒。しかしトップに立った増田もその直後に転倒し田淵が逃げ切った。

「こんなに先の展開を読んで冷静に走ったのは初めて。先輩の意地もあるしね。でも雨のレースで勝つとまた、雨に強い男、とか言われちゃうね」と田淵。先行逃げ切りのパターンが多かったが、追い上げでの優勝だけに本人も満足そう。

光安鉄美が予選中にケガをしたり、鈴木健二がシーズンオフに首を折って入院中というマイナス面もあるが、優勝した2人をはじめ、ヒート13位の村橋、ヒート24位の田嶋久誌の活躍など、ヤマハチームはタイトル獲得へ絶好のすべり出しを見せた。



ヒート2終盤の追い上げはさすが先輩。開けっ放りの良さに加え冷静な判断で優勝を手にした田淵



世界選手権モトクロスシリーズ

シュミット第2戦で総合優勝
 第3戦終了でランキングは3位

WORLD
 MX

開幕戦で優勝こそなかったものの総合3位とまずまずのスタートを切ったD・シュミット。3月28日の第2戦・スペインGPではヒート3で今季初優勝を飾るなど54ポイントを獲得。総合優勝をも手の中にし、この時点でトップと4ポイント差のランキング2位につけた。

しかし第3戦・オランダGPはシュミットにとってやや不得意なサンドコース。昨年のオランダGPでも総合6位と振わずに終わっている。自分にとって厳しい展開となることを予想してのレースとなったが、ヒート1では転倒によるリタイア、ヒート2ではキャブレターの不調と本来の走りはやはり出来ずじまい。ヒート3では5位に入賞するも、総合では9位と大きく遅れをとった。ランキングも3位と1歩後退したが、レースはまだ36ヒートも残っている。



「ポイントをできるだけかせこうと思っていた」というシュミットは、まだまだこれから、とやる気を見せていた。



第2戦では2位2回、優勝1回で総合優勝と実力を発揮したシュミット

ライダーとの接点を大切に
安全と楽しさナンバーワンの
バイクショップでありたい



YESSSショップのサポートシステム
YRSオフロードインストラクター制度がスタート

育てて広がるオフロードの世界

ニューモデルTT250Rのラインナップにより、ますます活気づく'93オフロードシーン。
今回は《YRSオフロードインストラクター制度》をいち早く利用して、
自店主催のオフライを計画する『YSP大橋』さんに話をうかがってみた。

あるレベルに達すると
バイクと一生付き合える

【以】 前から言われ尽くされた言葉だが、やはりオフロードスポーツの普及活動にはスクールが最も効果的と言えるだろう。技術が上達すれば遊びの世界は限りなく広がるものの、一方ではそのまったく逆の考え方もできるからだ。

福岡県の『YSP大橋』さんが、この4月にスタートしたばかりの『YRSオフロードインストラクター制度』を利用して、さっそくオフライを計画した理由もここにあり。

「私自身の経験からすれば、やっぱり上手に走れるようになって、初めてオフロード走行を楽しめるようになると思うんです。だから初心者の方には基本をしっかりマスターしてほしいし、ある程度走れる人にはもっと上を目指してもらいたいと思います」

と話すのは、元MX国際B級ライダーでもある畷岡正徳社長(33)。「あるレベルまで達したライダーは、バイクとも一生付き合えるようになるものです。私がそうだったように……」とも続ける。

『YRSオフロードインストラクター制度』は、オフロード普及を考えるYESSSショップのための新サポートシステム。ヤマハの研修を終えた契約インストラクターが、YESSSショップ主催のミニYRSから合同主催のオフライまで、全国各地のイベントに派遣されるといふもの。『YSP大橋』さんのようなオフロードライディングのノウハウを持っていないとも、確立されたカリキュラムで自店のお客さまのレベルアップを図れるというわけだ。





5月23日、初心者のみを対象としたオフライを実施する予定。「プロのインストラクターに、基本をしっかりと叩き込んでもらいたい」と畠岡社長



新規層の獲得にも オフライに大きな期待

畠 岡さんのお店はオフに強い。もちろん社長自身の経歴やキャラクターによることも大きいだろうが、それよりも日常の活動の中に、オフに強い秘密がありそうだ。

「特にエンデューロレースや林道ツーリングは、いま一番吸引力のある遊びですね。潜在的にオフをやってみたいと思ってるお客さんはもっとたくさんいると思いますし、そうしたライダーがイメージしやすいのもこのふたつですから。うちがエンデューロと林道ツーリングに力を入れている理由は、こうした考えがあるからなんです」

しかし、エンデューロレースも林道ツーリングも、言ってみれば遊びの場である。大切なのは遊びの場までのルールをお客さまに対して敷いてあげることができるといふことだろう。楽しく遊んでもらうためのルールとは、やはりライディングスクールに他ならないのだ。

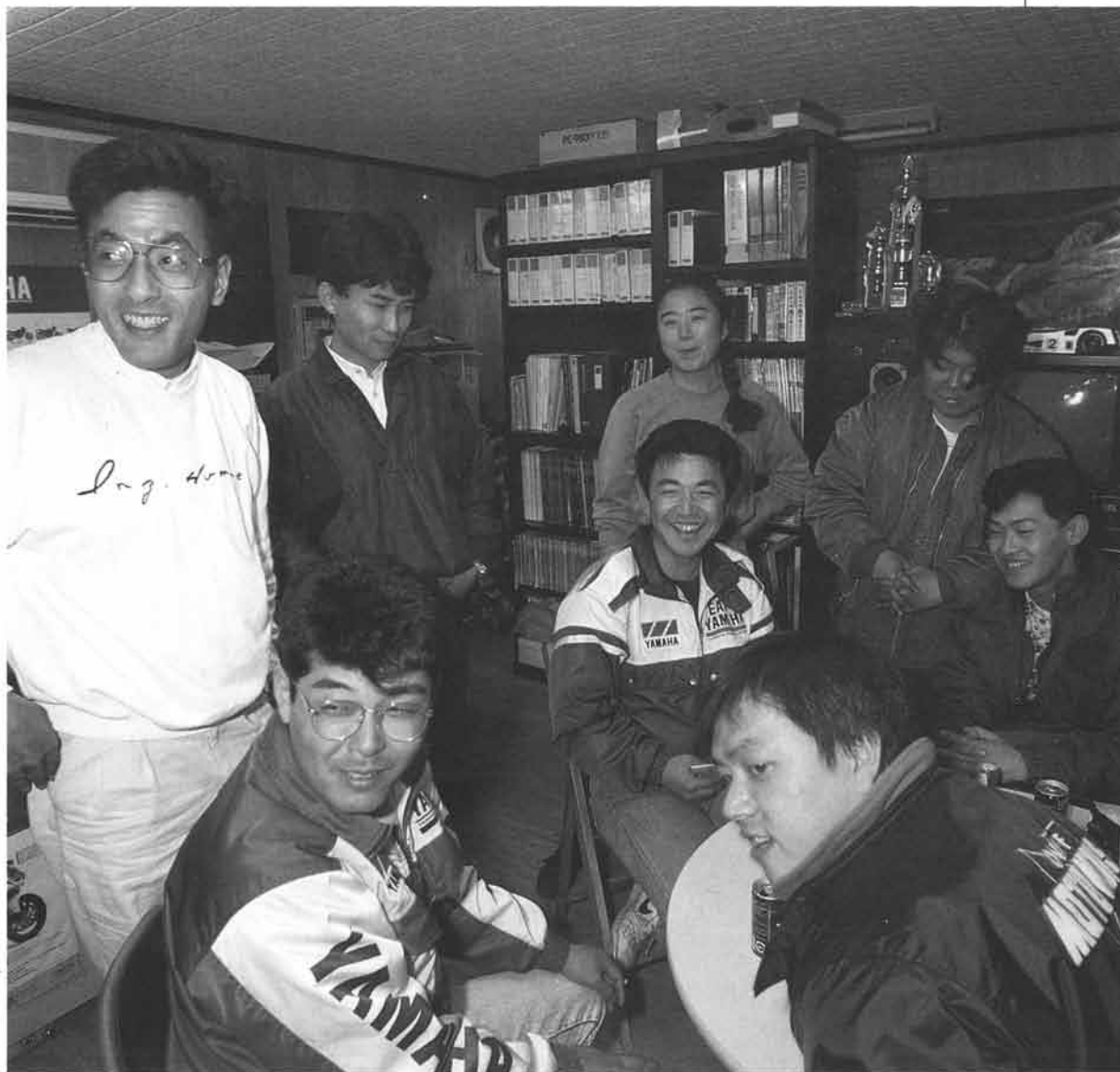
「うちの場合、オフライ開催の目的はふたつあります。ひとつはいまオフを楽しむ方にもっと大きな楽しみを見つけてもらうこと。もうひとつはオフの面白さを知らないお客さんにも、ぜひその楽しさを体験してもらいたいことです」

実際問題として、底辺の拡大とひと口には言っても、ショップ単位でできることなんて限界があるわけですよ。そうした意味でこのシステムは有難いものだと思います」

4月上旬で早くもTT250Rの予約が7台入り、今年も、オフに強い店は健在といったところだ。

多彩なイベントの開催で
お客さまのハートをかつちり把握

「マシンを下取りで引き取るころには
ボロボロになっているほど、遊び倒し
て欲しいんです。それを手助けするの



がウチの店の方針なんですよ。」

のっけから楽しそうな言葉が飛び出
してきた。広島県の福山市にお店を構

える「YOU SHOP ASO（あ

そう）」さんだ。ショップ開店4年目、

社長は31歳という元気印の店舗経営を

さつそくうかがうことにしよう。

社長は麻生賢司さん。福山市の松永
地区、旧・松永市の駅前商店街の近く
にお店を構えたのは4年半ほど前のこ
とだ。

「店を出す以前は他のショップで修行
していたんです。実家がバイクショッ
プをしていたわけでもないもので、こ

お客さまを飽きさせている バイクショップが多いのでは？

「マシンがメゲるまで走ろうぜ」が合言葉。
やる気マンマンの若い販売店

YOU SHOP ASO 麻生賢司社長

Hello

ナイスショップ



ツーリングはON、OFFともに盛ん。別ルート、同じ目的地の場合、同ツーリングもある。



教習所を借り切ったのジムカーナ大会も人気イベント



店のオープンと同時に私の店舗経営のスタートでもあったわけです。オープンと同時に、麻生さんはショップカラーを「修理」と「遊び」に絞った。修理はバイクショップとして当然としても、「遊び」にこだわった理由は何なのだろうか？

「多くの店を拝見すると、売ったはいがその後をフォローしていないように思えるんですよ。はつきり言って、お客さまを飽きさせている店が多すぎ

る。アフターサービスはお客さまに遊びの機会を提供することまで含まれているのではないのでしょうか？」

YOU SHOP ASOさんで企画される遊びは、オン・オフのツーリングを始め、エンデュロレースへの参加やミニバイクレース、ジムカーナと多彩だ。ツーリングは昨年で年間10回ほどを企画していたが、麻生さんはこれでもまだまだ少ないと考えている。

「新年会で決まった合言葉は『今年



マシンがメゲるまで走ろうぜ』なんて。日帰り、1泊のものも含めて、今年はどうどんツーリングに出ますよ」

同店主催のツーリングだけではない。ソロ・ツーリングを楽しむお客さまに對しても、「アフターサービス」精神は生かされる。

「ソロ・ツーリングで不安なのはツーリング先でのトラブルでしょう。ある程度のトラブルシューティング技術は

身につけておくといい。ウチではマシンの整備や修理のとき、希望者には教えてあげながら作業を行なうんです」

ところで遊びの企画は盛りだくさんでも、はたして店舗経営にプラスになっているのかちょっとお聞きした。

「遊びは直接的な効果がはかりづらいことは確かだね。でもね、たとえばニューモデルが出たとき、すぐに新車をおろしてツーリングなどの遊びの中



で臨時試乗会を行なうんです。かなりの効果はありますよ」

用品販売の面でも、お客さまが遊んでくれれば消耗パーツの売上増につながる。

夕方ともなるとユーザーが集まり出し、落ち着いたシヨールームは賑やかな集いの場となる

バイクとことん付き合っ
て欲しい。
そのためのサポートを、
うちは全力で取り組む



ハード面からもユーザーサポートも必要。認証工場とするため、現在2級整備士の資格にチャレンジ中

事実、タイヤの売上げはかなりのウェイトを占めるそうである。
「売るペースは他店さんから比べたら遅いかも知れません。しかしペースが遅い分、お客さまの心をつちりつかんで永いつきあいをしたいですね」

免許の取得制度に対し、ショップもアクションを

同店のイベントで人気が高いのがジムカーナだ。日曜日、近所の自動車教

技術講習会」というんです。いかめしい名前ですが、内容はフランクです。ジムカーナ以外に一本橋の遅乗り競技やスラローム競技なども取り入れてます」

教習所のコースをフルに生かしてバイクを一日中楽しめるイベントにしている、と麻生さん。このジムカーナ競技からはお客さまの一人が広島県大会のチャンピオンになったほか、広島市のクラブとも交流が生まれている。「競技だけではなく、原付を購入して

習所を借り切るこのイベントではいつも40人以上の参加があるという。

「イベントの名前は『安全運転

がっついていきますから」
「モーターサイクルの出会いに原付は小さななりにできない」と考えている麻生さんにはちょっと気掛かりなことがある。それは昨年11月の道路交通法改正で原付免許取得にも3時間の技能講習が義務付けられたことだ。
「講習は指定の自動車教習所が担当することになってるんですが、これがどこでも毎日開催されているわけではないんです。とくに春の免許シーズンには自動車学校が、本業の教習業務で忙しく、原付講習まで手が回らないのが事実なんです。よしんば講習を行なったとしても、1週間に数回、しかも平日が多い。日曜にしか時間を取れない人たちに大きな足かせになってるんです」
バイクの底辺拡大のためにはなんとしても原付免許をもっと手軽に取得できるようにしなければならぬ、こう

考えた麻生さんは関係官庁にある提案を行なった。
「日曜などに教習所のコースを開放してもらって、教習所に代わってわれわれ指導員や準指導員資格を持った人間が講習できないかと思っただけです。修了証はあくまで教習所が発行するという形ですね。私たちが開催している『安全運転技術講習会』でならすぐに実現できそうでしたから」
麻生さんの提案は残念ながらすぐには対応できないと言われたそうだが、バイクショップ側もできる範囲でアクションをおこす必要があるという麻生さんの考えは変わらない。麻生さんは今、もっと別の方向からの提案を模索している最中だ。



店舗内、外ともにロフト調。倉庫の雰囲気を生かしながら、店内を明るくするために内壁を白く塗り、柱をグレーとした



YOU SHOP ASO

福山市の西端、山陽本線の松永駅前から伸びる商店街から徒歩およそ5分の位置に立地。国道2号線へも近いほか、山陽自動車道路・福町西インターチェンジもわずか2キロほどの距離にある。近くには福山大学があり、学生の顧客も多い。

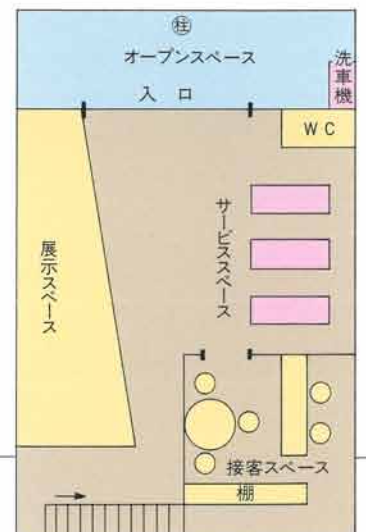
●オープン：昭和63年12月 ●店舗規模：約70坪の土地に、55坪の店舗。うち事務・接客スペースに6坪、ショールームスペースに17.5坪、31.5坪ほどを割いている ●展示台数：ショールーム内にスポーツ車6台、オープンスペースにスクーターを含め18台ほどを展示 ●商圏：松永地区を中心に半径8キロ、さらに福山市街や尾道市などを含め半径25キロ圏内 ●客層：20歳、30歳のサラリーマンと大学生 ●クラブ：なし ●営業時間：午前9時から午後8時まで ●定休日：毎週火曜日、さらにイベントを行なう際には日曜日



サービススペースと区別するため、展示スペースには床材を用いた



ショールーム内に建物を建て、接客スペースとした。2Fは物置きとなる



ここにもヤマハ

We Love Yamaha



モーターサイクルとの 楽しい出会い PW50にはそんな思いが こもっている

PW50にちょこんと跨がって、親への対抗心に燃える子。ライバル視された親は笑ってはいませんが、子供なんかに負けてたまるか、と穏やかじゃない。でも、ライディングの“上達度”は子供に軍配が上がる。無心に指導者からのすべてを吸収する子供と、上手くやろう、恥はかきたくないと身がまえる親との差がはっきり出てしまうからだ。親と子が一緒になってバイクに乗って遊ぶ。これは「親子バイク広場」でのひとコマだ。

「お父さんよりボクのほうがうまいんだ」と自信に満ちた顔。「うちの子にこんな力があつたのか」と目を見張りわが子再発見の顔。PWがそんな二つの顔をくっつけて、絆を強めていく。モーターサイクルへの恐怖心を取り除く。

親子バイク広場は「二輪車安全振興会」(万澤安会長)が“出会いを幸せに”を合言葉に主催するイベント。毎回20組を超す親子が参加する。子供を交通事故から守りたい。楽しいモーターサイクルとの出会いをしてほしい、と'91年から活動している。インストラクターは、二輪専門誌で活躍するプロライダーが中心だ。

高校生からだ遅い、純白で好奇心盛りの3歳から6歳ぐら이가実はバイクとの出会い適齢期、と万澤会長はいう。

PWと親子バイク広場。需要創造活動のひとつとしても注目だな、と思う。

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社